

### 社民・市民ネット

かつまた竜大 秋本のり子  
湯浅 止子

### 放射線対策

問 東日本大震災から2年が経つが、まだまだ原発事故は収束していないという意識の下で、これから生き延びていく子どもたちのために、大人は放射線の警害についてもっと学び続ける必要があると考える。本市における放射線対策の状況はどうか。また今後、内部被ばくに特化した講演会を実施する等、内部被ばく、食の安全に関する市の姿勢を問う。

### 文学ミュージアム

問 平成25年度にはいよいよ文学ミュージアムが開館するが、地域に付加価値をつける文化事業の1つとして十分な周知を図る必要があると考える。周知方法PRについてはどう考えているか。また、施設におけるバリアフリーや休憩設備といった高齢者等への配慮について、及び、施設は生涯学習センター内に設置されるが、これを単独施設とする考えについて問う。

答 震災に伴う福島第一原発事故に対し、市は基本方針を策定して空間放射線量の低減に取り組んだ結果、現在では、小・中学校、幼稚園、保育園では毎時0.23μSv(マイクログローバルト)未満、その他の市の施設では毎時0.23μSv未満とする基本方針の目標を達成している。また、内部被ばくへの対策としては、これまで、市内産農産物、学校や保育園等での給食及び給食食材の放射性物質の検査等を行い、広報紙やホームページ等で公表してきたが、これらの対策は平成25年度も継続して行っていく予定である。今後も、食に関する部分について、しっかりと検査を行っていく。憩える椅子も配置する予定であり、誰もがゆったり

今後の国・県の対応状況を勘案し、検討していきたい。

### 自由クラブ

井上 義勝 青山 博一  
加藤 武央

### 橋・水路の 保全管理

問 橋りょうの長寿命化修繕計画について、市が管理している橋の大半は、築造後数十年が経過していることと認識している。これらの橋の修繕の優先順位はどうか。また、特に行徳地区

と展示を見ることができると考えている。生涯学習センター内での設置と他、立地条件や厳しい財政状況に関しては、中央図書館等の併設機関との連携に再整備という形で開設することとしたことである。



グランドオープン間近の文学ミュージアム

### 自由民主党

かいづ 勉 佐藤 幸則  
宮田 かつみ

### 市川漁港

に多くある、上部を歩道として利用している排水路について、老朽化や破損状況の調査、及び予防保全管理に関する具体的な取り組みはどうか。また、柵欄水路については、総延長約168kmの点検調査に基づき、緊急度に応じた優先順位を決定していき、平成26年度以降できるだけ早く改善に着手したいと考えている。

問 市川漁港の整備について、地震や津波に対する施設の安全、漁業活動の拠点としての機能確保と共に、市民と漁業者との交流や、市民が海に親しめる場の創出を目指す。施設の安全対策の考え方と、市民が海に親しみ、漁業者との交流を図るための具体的な取り組みの考えを問う。

答 市川漁港については、東日本大震災を教訓とした地震・津波対策に関する国の新たな方針や基準に基づき、当該地で考えられる最大級の地震に耐え、かつ、地震後の速やかな機能回復を可能にすることを目標として設計を進めている。また、市民が利用できる老朽化して使用できない状況である。これらの活用等については、漁港整備との整合を図りながら、漁協と協議、検討していきたい。

### 待機児童の解消

問 市は待機児童の解消のため、様々な施策を行っているが、厳しい経済状況下において、共働きの増加に伴って、子育て家庭が増加していることにより、平成24年1月1日現在、296名の児童が保育園への入園を待っている状況である。待機児童の解消策として、市は25年度、26年度の2年間で保育園の定員を550名増員する計画であるが、これによって待機児童を解消することができるのか。また、市としては今後、保育計画の見直しを考えているか。

### 成年後見制度

問 成年後見制度は平成12年にスタートしたが、普及に時間がかかっており、未だ利用の少ない状況である。市は、今後、どのように制度を周知し、受け入れ体制を整えていくのか。また、制度の周知に伴って利用者の増加した場合、後見人確保の費用が増えることから、市の費用が増え、市の財政を圧迫する可能性があるが、市はどのように対応していくのか。また、養成研修の実施だが、本市においても、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加、親族関係の希薄化等により潜在的な需要が増加しているのに対し、利用



平成25年度は保育園3園を新設